

公益財団法人まちみらい千代田
第13期第1回評議員会 議事録

1 日時

令和7年8月22日(金)午前10時から午前11時まで

2 場所

ちよだプラットフォームスクウェア 4階401会議室

3 評議員現在数

8名

4 出席者

(1)評議員(7名)

鈴木潔(会長)、高山肇(副会長)、親泊哲、熊谷エイ、高橋陽子、田近恭一、谷真理子、
(欠席者) 山本久喜

(2)監事(1名)

渡邊牧文

(3)理事(2名)

細越正明(理事長)、依田昭夫(副理事長、事務局長兼務)

(4)事務局

依田昭夫(事務局長及び産業グループマネージャー(以下、「GM」という。))事務取扱)
堀切俊秀 GM、中元邦博 GM

5 議題

[決議事項]

- (1)議案第1号 公益財団法人まちみらい千代田 評議員の選任について
- (2)議案第2号 公益財団法人まちみらい千代田 理事・監事の選任について
- (3)議案第3号 公益財団法人まちみらい千代田 第12期事業報告(案)について
- (4)議案第4号 公益財団法人まちみらい千代田 第12期決算(案)について

6 開会、理事長あいさつ、定足数確認、議事録署名人の選任

開会に先立ち、事務局が配布資料の確認を行った。定款第25条により、評議員会の議長を務める鈴木会長が開会を宣言し、細越理事長にあいさつを求めた。次に議長が本日の出席評議員について、事務局に報告を求めた。事務局から出席者と定款第26条の規定に定める定足数を満たしていることを報告し、議長が本評議員会は有効に成立している旨を告げた。

次に本評議員会の議事録署名人として、事務局から定款第30条第2項の規定により、本日出席の田近

評議員と熊谷評議員の2名を提案したところ、満場一致の賛成があり、議長が両評議員を指名したところ、本人もこれを承諾した。その後、議題に入った。

7 議事の経過及び結果

[決議事項]

(1) 議案第1号 公益財団法人まちみらい千代田 評議員の選任について

依田事務局長が議案第1号について、説明を行った。本評議会終結の時をもって、鈴木潔評議員、親泊哲評議員、熊谷エイ評議員、谷真理子評議員、山本久喜評議員の任期が満了となるため、評議員の重任を提案した。また、新たな評議員候補者として、大菅宏氏を提案した。

その後、議長が本議案を出席している評議員に諮ったところ、全員異議なく議決した。なお、評議員の就任日は、本年8月22日とすることを承認いただいた。

(高山肇評議員、高橋陽子評議員は、本評議会終結の時をもって任期満了を迎え、退任となった。)

(2) 議案第2号 公益財団法人まちみらい千代田 理事及び監事の選任について

依田事務局長が議案第2号について、説明を行った。本評議会終結の時をもって、小川智由理事、齊藤広子理事、栃木一夫理事、依田昭夫理事、渡邊牧文監事の任期が満了となるため、理事及び監事の重任を提案した。

その後、議長が本議案を出席している評議員に諮ったところ、全員異議なく議決した。なお、理事及び監事の就任日は、本年8月22日とすることを承認いただいた。

(3) 議案第3号 公益財団法人まちみらい千代田 第12期事業報告(案)について

(4) 議案第4号 公益財団法人まちみらい千代田 第12期決算(案)について

議事の審議に入る前に議長から議案第3号及び議案第4号は、関連があるため、一括して審議を行いたい旨の提案をしたところ、全員異議なく了承した。

はじめに、細越理事長から第12期事業報告及び決算の概括的な考え方について説明を行った。事業報告書の記載方法を一部見直して、評価・課題、今後の方向性を新たに明記し、この方向性に沿って事業を取り組んでいくことを告げた。

次に、依田事務局長が第12期事業報告の概要について説明を行った。

その後、各 GM から担当事業の詳細について説明を行った。

住宅まちづくりグループの事業は、堀切 GM が報告を行った。

産業まちづくりグループの事業は、依田事務局長が報告を行った。

協働まちづくり・総務グループの事業は、中元 GM が報告を行った。

続いて、依田事務局長が第12期決算の概要について説明を行った。

議案の審議に先立ち、渡邊監事から監査報告(令和7年7月8日実施)の結果について、決算資料が正確であり、理事の業務も適正に執行されている旨の報告が行われた。また、第11期の決算書類(貸借対照表および正味財産増減計算書等)について修正した旨の報告を受け、適正に処理がされていることを確認したことを報告した。

なお、説明後に以下の質疑があった。

(評議員)

決算に関して、前年度と比較した当年度の主な増減を中心に説明があり、その増減の要因を分析していると思うが、貸借対照表や正味財産増減計算書に簡潔な文章で記載があるとより理解が深まる。また、それが財団の運営に影響するのか、公益法人の認定基準をクリアしているのか説明の記載があると良い。さらに、財産運営上の短期的・中期的な課題を把握していると思うが、あわせて決算書に付け加えていただきたい。

(事務局)

ご指摘いただいたとおり、数字だけでは理解が中々難しいと思うので、次回からは視覚的に分かりやすいグラフ等を入れた資料を提示する。

(評議員)

マンション再生方針検討助成とマンション再生計画検討助成の近年の実績はともに0件であったが、マンション再生支援の入り口であるマンション劣化診断調査費助成の実績は伸びている。今後は急伸する可能性があるため、セーフティネットとして科目を残すという判断は当然かと思う。「ア マンション劣化診断調査費助成」から「マンション再生支援(イ～オ)」の各助成に移行していくことを想定していると思うが、特に次の入り口となる「イ マンション再生方針検討助成」について、例えば「こんなケースについては対象になるのでご相談ください」といった活用方策を示す等のPR方法の工夫をした方が良い。活用方策については、ホームページにいくつか例示列挙した方が良いと思う。

(事務局)

今後も少しでも興味を持っていただけるようにPR方法を検討していく。

以上の質疑応答があった後、議長が本議案を出席している評議員に諮ったところ、全員異議なく議決した。

8 閉会

以上、本日の評議員会は、議案の審議を終了したので、議長は閉会を宣言した。

上記の決議を明確にするため、議長及び評議員がこれに記名、押印する。

令和7年8月22日

公益財団法人まちみらい千代田
第13期第1回評議員会

議 長

議事録署名人

議事録署名人